

全道交流登山会・富良野西岳（1. 3331m） 四線川コース

日時：平成29年8月26日～27日 天候 晴れ&雨・雷（日替わり定食の天気）
参加者：CL 藤木た・A班～澤田・河村・長沼・西田芳・伊藤・笹山・谷・八重樫・栗山
B班～藤木晴・小山内・渡邊・相馬・森永・太田・本野・門馬

26日（土）

5:55 レンタカー2台で幌別発。

6:50 苫小牧組と合流。平取道の駅・南富良野道の駅等々に寄りながら富良野を目指す。途中1年前の台風の爪痕も生々しい倒木や護岸工事の様子が見える。

12:45 会場の富良野スキー場着。斜面にひまわり畑、反対側には十勝蓮峰などが展けて見えて気持ちが良い。テント設営（4基）にとりかかる。その後、早速安着祝いが始まる。



15:05 第31回目の交流登山会の開会式。現地の富良野山岳会は90年の歴史を持つという。交流登山会の始まったいきさつや、富良野の特色の説明。熊に遭ったら皆で固まって大きく見せる事、雷が鳴ったら散らばって小さく伏せる事などの注意事項も聞く。

16:10 交流会。差し入れされた富良野ワインに酔い、ビンゴ大会で盛り上がっているうちに、雨が断続的に降り、雷が光るが十勝方面の空には大きな虹もかかっていた。



18:00 各々のテントに引き上げる。私達のテントに雨が溜まっていたが大事に至らず良かった。引き継ぎ晴天祈願をしているテントの賑やかな声を聴きながらさすがに疲れて20:00頃には眠くなる。夜中にも音がしていたが、晴れ間には星空も綺麗に見える。ホテルのイルミネーションや街の灯りが綺麗に目に入った。

27日（日）

4:30 起床。うどんて食事。雨に濡れたテント逆さまにしておく

6:30 ゴンドラ乗車。（6人乗り）

6:45 ゴンドラ下車。いざ登山開始。良く晴れていて目指す山や街・十勝連峰が見えている。

- 8 : 3 0 雨が降り始めカッパを着る。道も濡れやが急登も現れて頂上までが長く感じられる。
- 9 : 2 5 頂上。狭くて一步間違えば崖から落ちそう。写真を撮って早々に四線川コースを下る。片側が崖だったり、草が被さっていたり雨の性かとにかく滑る。急斜面を慎重に下り続けるがそれでも転ぶ。声に振り向くとおさげの少女が「眠れる森の美女」になっている。
- 1 1 : 3 5 沢に出る。これより何度沢を渡った事だろう。雨は止んだが石の苔も危ない。一瞬とも気の抜けない下山の道。「下りごたえのあった山」でした。
(T 女語録より)
- 1 3 : 2 0 登山口着。最後に砂防ダムの堤防を越えてゴールへ。
山には、コケモモ・ゴゼンタチバナ・ツルリンドウ・オオカメノキの赤い実・サンカヨウ・ツバメ オモト・トリカブトの青い実と花・アキノキリンソウの黄などが秋の山を彩っていました。
- 1 4 : 0 0 閉会式。現地と役員の方達に感謝です。
- 1 4 : 3 0 帰途に着く。途中入浴。
- 2 0 : 1 0 幌別着。



*頂上まで行かず下山し、テントを片付けて下さった3人の方達有り難うございました。
朝早く現地に駆けつけて登山に参加したOさんご苦勞でした。
行き帰り安全運転して下さった方達有り難うございました。
総リーダー本当に有り難うございました。
そして、皆様お疲れ様有り難うございました。

栗山記

